

**平成28年度
インターネットサービス実施計画**

日本放送協会

平成28年1月12日

目次

はじめに	2
基本方針	2
第1部 受信料を財源とするサービス	
1. 受信料を財源とし、広く一般の視聴者に提供するサービス（2号受信料財源業務）	
(1) 国内放送関係	4
(2) 国際放送関係	14
(3) 試験的な提供について	16
(4) 2号受信料財源業務の費用	17
2. 受信料を財源とし、事業者等へ提供するサービス（3号受信料財源業務）	
(1) 国内放送関係	18
(2) 国際放送関係	18
(3) 3号受信料財源業務の費用	18
第2部 有料で行うサービス	
1. 利用料金を財源とし、一般の利用者向けに有料で提供するサービス（2号有料業務（NHKオンデマンド））	19
2. 有料で事業者等へ提供するサービス（3号有料業務）	20
3. 2号有料、3号有料業務の収支	20
第3部 実施状況に関する資料の作成および評価について	21
第4部 インターネット活用業務に関する競合事業者からの意見・苦情等への対応について	21

はじめに

この実施計画は、NHKのインターネット活用業務の実施基準（放送法第20条第2項第2号および第3号の業務の実施基準）に基づき、平成28年度に実施するNHKのインターネットサービスの内容を示すものです。

〔実施の期日〕平成28年4月4日（月）から実施

基本方針

平成28年度は「信頼をより確かに、未来へつなぐ創造の力」を掲げた経営計画の2年目にあたります。NHKでは、経営計画に基づき、インターネットサービスにおいても、公共放送が果たすべき役割に重点を置いて、放送と通信の融合の時代にふさわしい新たなサービスに取り組み、公共メディアへの進化に向け、着実に足がかりを積み重ねていきます。

NHKのインターネット活用業務は、放送を補完してその効用・効果を高め、国民共有の財産である放送番組等を広く国民に還元するなど、放送法第15条に掲げられたNHKの目的を達成するために実施するものです。放送を基軸としながらインターネットサービスにおいても、正確で公平・公正な情報や豊かで良質なコンテンツを幅広く提供し、健全な民主主義の発達と文化水準の向上に寄与していきます。中でも、命と暮らしを守る防災・減災情報や、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックなどの国民的関心の高い

スポーツコンテンツの提供等に重点を置きながら、公共性の高いサービスを提供します。

また、「トータルリーチ」の考え方を深め、放送と「NHKオンライン」、「NHKオンデマンド」の連携を強化するなど、インターネットを活用してより多くの人にNHKコンテンツを届けるサービスを充実させます。

さらに、サービスの実施にあたっては、放送法や実施基準、インターネットガイドライン等の規律を遵守し、適切な評価を行って、サービスの選択と集中を進めます。

平成28年度、NHKは、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年（平成32年）における世界最高水準のサービス実現を目指し、放送を太い幹としつつ、放送だけでなくインターネットも積極的に活用して、インターネットの特性を生かしたより一層多様で意義のあるサービスの開発・実施に取り組んでいきます。

第1部 受信料を財源とするサービス

1. 受信料を財源とし、広く一般の視聴者に提供するサービス（2号受信料財源業務）

（1）国内放送関係

① ニュース・災害情報発信の強化

a. いつでもどこでも正確・迅速な報道

公平・公正かつ正確・迅速なニュースの提供と人々の「命と暮らしを守る」防災・減災情報の提供は、公共放送の使命です。

信頼される情報をより早く、より多くの人にきめ細かく伝えるため、インターネットを活用したニュース・災害情報の発信につとめます。

（主なコンテンツ、サービス）

「NHK NEWS WEB」ホームページ

「NHK気象・災害情報」ホームページ

b. スマートフォン向けニュース・災害情報の強化

インターネットの利用拡大やスマートフォンの普及が急速に進む中、人々の「命と暮らしを守る」防災・減災情報を「いつでも」「どこでも」入手できるような取り組みを強化します。

28年度は、モバイル端末に向けた防災情報の強化に力を入れ、災害情報・避難所やライフラインの情報、ニュースなどさまざまな情報等を提供するため「アプリ」による年度内のサービス実施をめざします。

（主なコンテンツ、サービス）

「NHKニュース・防災」アプリ

c. 「放送中番組」の提供

災害時における国民の生命・財産の保護等に資するための情報など、国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報で、特に迅速に提供すべきものを伝える国内テレビの緊急ニュース（全国放送ならびに地域放送）を、NHKオンライン等で、放送と同時に提供することがあります。

提供した緊急ニュースの内容および提供時間は、実施のつど、NHKオンラインで公表します。

なお、平時において、災害時における放送中番組の提供に関連する訓練を行うことがあります。

（主な実施想定例）

「大きな被害が発生、または発生が想定される自然災害等を伝えるニュースを放送する場合」

d. ニュース関連映像等のリアルタイム提供

国民的関心の特に高いニュースに関連する現場映像・音声等を、番組の内容を解説・補足する理解増進情報として、リアルタイムで提供することがあります。

（主な実施想定例）

「大規模な自然災害時のロボットカメラ映像・音声」

「国民的関心の高い事件、事故、出来事等の現場映像・音声」

②豊かなスポーツ視聴体験の提供

スポーツは、視聴者・国民が健やかで明るく豊かな生活を送り、喜びや感動を通じて人と人とのつながりを促進する文化的なコンテ

ンツであり、幅広いジャンルのスポーツを伝え、スポーツ文化の発展に資することは、公共放送が果たしてきた役割の一つです。インターネットでも、その役割を深めていきます。

a. 競技映像・音声のリアルタイム提供

世界的なスポーツの祭典であり、数多くのアマチュア競技の頂点として行われるリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック（オリンピック平成28年8月5日～21日、パラリンピック平成28年9月7日～18日）をはじめとする、国民的関心が極めて高いスポーツイベントの放送に際し、リアルタイムで放送しない競技・試合の映像・音声を、インターネットでリアルタイムで提供することを通じ、幅広いジャンルのスポーツに、身近に親しんでもらえる環境を提供していきます。

（主なコンテンツ、サービス）

「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック」ホームページ

「NHKがインターネット配信の権利を有するスポーツイベント」ホームページ

「NHKスポーツオンライン」

「NHKスポーツアプリ」

b. 豊かで価値の高い情報や視聴体験を提供

年間を通じて行われるさまざまなスポーツ中継に際しては、インターネットの特性を生かし、アスリートたちの知られざる努力、チームワーク等の背景情報を、放送に加えて多面的に掘り下げて伝えることで、公共放送の役割をより十全に果たします。

試合や選手等の膨大な情報を解析して視覚的に表現するほか、マ

ルチカメラによる映像を駆使するなどして、スポーツの魅力や迫力を多角的に伝えていきます。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけたサービスの開発にも取り組みます。

(主なコンテンツ、サービス)

「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック」ホームページ

「各種オリンピック・パラリンピック予選競技会中継」ホームページほか

「NHKスポーツオンライン」

「NHKスポーツアプリ」

③参議院議員選挙でのデジタルサービスの提供

第24回参議院議員通常選挙(任期満了日・平成28年7月25日)の選挙報道や開票速報等の膨大なデータや映像・音声等を、インターネットの特性にあわせて再編集して提供し、視聴者の信頼に応えます。

(主なコンテンツ、サービス)

「参院選開票速報」ホームページ

④教育分野の充実・強化

a. オンライン化が進む教育分野への対応

オンライン化が進む教育分野で公共放送らしいサービスを展開します。

インターネットの普及による学校教育現場の学習モデルの変化にも適切に対応するため、学校放送コンテンツや、幼児・青少年向けコンテンツのいっそうの充実に取り組み、放送と連動し、視聴者の

“知りたい” “学びたい”に応えます。

特に学校放送番組を提供しているポータルサイト「NHK for School」では、小中学校に配備されるタブレットでの利用などを想定し、最適化とアプリ化を進めるなど子どもたちにとってさらに使いやすいサービスを目指します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHK for School」ポータルサイト

「キッズワールド」ポータルサイト

b. 「予習コンテンツ」と「教育アーカイブス」

「NHK for School」の中で、ユーザーが予習をできるように、放送済みの番組に加え、放送前の教育番組の内容を紹介するコンテンツを提供します。また、放送済みの番組のうち、学校からのニーズが高いコンテンツの一部を動画で配信します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ざわざわ森のがんこちゃん」

「ココロ部！」

⑤人々の知的好奇心に応えるコンテンツの提供

a. 取材・制作の過程で得られる多くの情報を活用したコンテンツの展開

18歳以上に選挙権を与える改正公職選挙法に合わせ、さまざまな番組と横断的に連携しながら若者たちとともに未来を展望する企画や、ビッグデータを分析する番組と連動したコンテンツなど、質の高い特集コンテンツ「デジタル特集」を展開します。

(主なコンテンツ、サービス)

「18歳プロジェクト」ホームページ

「DATA NAVI」ホームページ

「デジタル特集」ホームページ

b. パーソナルな視聴者の関心に応えるサービス

“仕事”、“職業”をテーマとした若い人たちにとっての将来への指針となるようなコンテンツを提供します。語学学習の継続的・体系的学習を可能にする「マイ語学」では、モバイル対応など機能の拡充を進め、生涯を通じて学びたいときにいつでも学べる環境づくりにつとめます。

NHKオンラインのスマートフォン最適化をいっそう進めるとともに、“今”の人々の関心に応える情報をリアルタイムに提供するなど利便性を追求し、視聴者一人一人の関心やニーズに沿った、より使いやすいホームページサービスを提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「プロフェッショナル－仕事の流儀－」ホームページ

「マイ語学」ホームページ

「健康」ホームページ

「NHKオンライン」トップページ

c. 新たな技術・サービスの開発

若年層の視聴者へのリーチを広げるために、バーチャルリアリティや音声認識などの最新のテクノロジーや新しいデバイスの機能を活用した番組連動コンテンツなどを開発します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKスペシャル」ホームページ

「デジタル特集」ホームページ

⑥番組の周知・広報や、内容を解説・補足する質の高いコンテンツ

視聴者のより深い番組理解につながるコンテンツや、番組への双方向参加を通じてさらに楽しめるコンテンツを提供します

(主なコンテンツ、サービス)

「ブラタモリ」ホームページ

「とと姉ちゃん－連続テレビ小説－」ホームページ

「真田丸－大河ドラマ－」ホームページ

「ドラマ 精霊の守り人」ホームページ

「NHK_P R」ホームページ

「着信御礼！ケータイ大喜利」ホームページ

ドラマや自然などのジャンル別ポータルサイト

⑦通信と連携したテレビ向けサービスの充実

a. ハイブリッドキャストでは、24時間いつでも見られる暮らしに役立つコンテンツを充実するとともに、映像4波の定時番組や、特集、スポーツ中継等で、早戻しサービスやハイライト動画など、ハイブリッドキャストならではの動画の魅力を生かしたサービスを提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ニュース」、「気象情報」、「スポーツ情報」、「ビジネス情報」、

「番組表」、「そなえる防災」、「おはなしのくに」、「きょうの料理」

「あさイチ」、「しごとの基礎英語アンコール」、「経済フロントラ

イン」、「世界ふれあい街歩き」

b. 地上・BSのデータ放送を入り口としたインターネット接続サービスでは、引き続き双方向番組等を展開し、テレビ受信機のインターネット接続の推進を図ります。

(主なコンテンツ、サービス)

「Let's 天才てれびくん」

「ビットワールド」

⑧ラジオのインターネットサービスの提供

ラジオ第1放送、ラジオ第2放送およびFM放送の放送中番組を提供する「らじる★らじる」のサービスと、ラジオ番組のオンデマンド配信やポッドキャストのサービスを提供します。

地域の災害情報や身近な生活情報などの地域情報をインターネットでも提供するため、「らじる★らじる」による地域放送の同時提供サービスを充実します。

(主なコンテンツ、サービス)

「らじる★らじる」(音声波の放送中番組の同時提供)

「ニュース」、「高校講座」、「語学講座」等のオンデマンド配信サービスやポッドキャストサービス

⑨地域放送局のインターネットサービス

全国の放送局は、地域の「安全・安心の拠点」として、いざというときに防災・減災のための情報やライフライン情報などをインターネットでも正確・迅速に伝えます。

また、全国各地の放送済みのニュース動画の一部をインターネットで提供するなど、引き続き地域の情報発信に取り組むとともに、

地域の魅力も全国に伝えます。

(主なコンテンツ、サービス)

「各地域放送局」ホームページ

「各地のニュース」ホームページ

「地域発ドラマ」ホームページ

⑩“人にやさしい”サービスの実施

a. 手話ニュースの動画提供や在日外国人にもわかりやすい“やさしい日本語”でニュースを伝えるほか、障害者スポーツのさらなる理解・促進をめざすなど、最新の技術を使った“人にやさしい”サービスをインターネットでも提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ハートネットTV」ホームページ

「NHK手話ニュース」ホームページ

b. 高齢者や障害者などが直面する社会的な課題に対して、幅広い視聴者により身近なこととして共感してもらい発信・拡散を呼びかけるサービスを提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ソーシャルグッド・プロジェクト」ホームページ

⑪理解増進情報のリアルタイム提供

放送番組の収録時の映像・音声や、放送を対象としたイベントで、リアルタイムで放送しない映像・音声を、番組の内容を解説・補足する理解増進情報として、インターネットでリアルタイムで提供することがあります。

(主なコンテンツ、サービス)

「高専・学生ロボコン」

「放送予定のある地域イベント」

「NHKが主催する公開収録番組」

⑫インターネットによるアーカイブスの提供

NHKが保存しているニュースや番組等の映像記録のうち、特に社会的意義が認められるものについてインターネットで公開します。

このほか、NHKアーカイブスの番組や番組素材から、映像・音声の一部をメディアリテラシーの基本を身につけるための創作用素材として提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKアーカイブス」ポータルサイト

「戦争証言アーカイブス」ポータルサイト

「NHKクリエイティブ・ライブラリー」

(2) 国際放送関係

①「NHKワールド・オンライン」ホームページの利便性向上と多言語サービスの充実

「NHKワールド・オンライン」ホームページを訪問する利用者の関心に応じて、同一ジャンルのテレビ・ラジオ番組の放送予定などを横断的に紹介するポータルサイトを整備します。

また、ビルマ語、ヒンディー語、スワヒリ語のホームページでテキスト化したニュースの提供を始め、日本語を除く17言語すべてのホームページにテキストニュースを掲載するなど、多言語サービスを充実します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKワールド・オンライン」ホームページ(18言語)

「やさしい日本語」ホームページ

「Life and Culture」ポータルサイト

②NHKワールドTVの放送同時提供とオンデマンド提供

a. NHKワールドTVは、放送と同時にインターネットで提供します。「見逃しサービス」を中心とする放送済み番組のビデオ・オンデマンド(VOD)は、提供番組を増やしてサービスを拡充します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKワールドTV」放送同時提供

「NHKワールドTV」オンデマンド提供

b. NHKワールドTV視聴アプリは、スマートフォン/タブレット端末向けに加え、テレビに接続するストリーミング・プレーヤー向けのアプリを開発し、「NHKワールドTV」をより多くの端末で

視聴できるようにします。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKワールドTV」視聴アプリ

③ラジオ日本の放送同時提供とオンデマンド提供

NHKワールド・ラジオ日本では、「ニュース」等を18言語によりインターネットで放送と同時提供するとともに、オンデマンドでも番組を提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ラジオ日本」放送同時提供

「ラジオ日本」オンデマンド提供

「ラジオ日本」聴取アプリ

(3) 試験的な提供について

放送を補完する観点から、国内テレビジョン放送（総合テレビジョン、教育テレビジョン）の放送と同時に提供するサービスの改善・向上の検討に資するために、試験的な提供を実施します。提供にあたっては実施日時（期間）、提供内容、費用等を含む試験計画を事前に作成し、公表します。

試験的に提供した番組とその提供期間、試験結果については、試験的な提供が終了するつど、NHKオンラインで公表します。

・試験的提供 A

国内テレビジョン放送（総合テレビジョン、教育テレビジョン）で放送するスポーツイベントの生放送番組から、検証にふさわしいものを選定して実施します。

対象イベントは年間5件程度（1日あたり最大4時間程度）を超えない範囲で実施します。

・試験的提供 B

国内テレビジョン放送（総合テレビジョン、教育テレビジョン）について、1回あたりの提供期間としては1週間から3か月以内とし、1日16時間以内で実施します。

対象は受信契約者（その世帯構成員を含む）から募集した1万人以内とし、提供ごとに個別に定めます。

(4) 2号受信料財源業務の費用

2号受信料財源業務の費用は、受信料収入の1.9%にあたる130億円です。内訳は、物件費が93億円、減価償却費が3億円、人件費が33億円で、物件費のうち、国内放送関係は76億円、国際放送関係は17億円です。

国内放送関係の76億円の内訳は、番組ホームページの制作・更新、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連、アプリや新サービスの開発、ハイブリッドキャストコンテンツの制作など、コンテンツ関連が58億円、サーバー・ネットワークの構築や制作システムの整備などインフラ関連が18億円です。

国際放送関係の17億円の内訳は、コンテンツ関連が10億円、インフラ関連が6億円です。

※「(3) 試験的な提供」の費用は、3.6億円で、国内放送関係に含まれます。

2. 受信料を財源とし、事業者等へ提供するサービス（3号受信料財源業務）

（1）国内放送関係

①国内事業者への提供

災害時等には、他のインターネット事業者からの申し出に基づき緊急ニュースを提供し、当該事業者が放送と同時に提供することを認める場合があります。また、公共放送として特に意義のある過去番組等について、他の事業者に提供する場合があります。

（主なコンテンツ、サービス）

「災害時等における事業者等への情報提供・同時配信」

「平和アーカイブス」関連番組の提供（一部）

（2）国際放送関係

①受信環境整備としての海外事業者への提供

NHKの国際放送について、より多くの海外の視聴者に見ていただけるようにする施策の一環として、ライブストリーミングやビデオ・オン・デマンド（VOD）事業を行う海外の事業者に国際放送番組を提供することがあります。

（3）3号受信料財源業務の費用

これらの業務の費用は0.2億円を想定しています。

第2部 有料で行うサービス

1. 利用料金を財源とし、一般の利用者向けに有料で提供するサービス（2号有料業務（NHKオンデマンド））

① NHKオンデマンドサービス

NHKが国内で放送した番組およびその理解増進につながる情報などを、一般の利用者向けに提供する会員制有料動画配信サービスです。

平成28年度も引き続き、コンテンツの充実や利便性の向上に努め、利用者の拡充を目指してサービスの向上に取り組めます。

（サービスの種類と契約種別）

a. サービスの種類

【見逃し番組サービス】

「大河ドラマ」「連続テレビ小説」や「NHKスペシャル」、「NHKニュース7」、スポーツ中継番組などNHKで放送している人気番組等を、放送から1～3週間程度のあらかじめ定めた期間、提供します。

【過去番組サービス（特選ライブラリー）】

名作ドラマや大型ドキュメンタリー番組など、見逃し番組サービスでの提供期間を過ぎた過去の放送番組等を一定期間または期間を定めずに提供します。

b. 契約種別

【単品等】

放送番組等の中から、そのつど課金して利用可能とするものです。

【見放題パック】

個々の放送番組等の入れ替わりがあることを前提とした特定範囲の複数本の放送番組等を一括対象とし、一定期間、利用可能とするものです。

2. 有料で事業者等へ提供するサービス（3号有料業務）

①ビデオ・オン・デマンド（VOD）事業者への番組提供

NHKが国内で放送した番組などを、ビデオ・オン・デマンド（VOD）事業を行っている対象事業者から求めがあった場合、公共放送への信頼を損なわないことを前提に、「放送番組等有料配信業務勘定」の健全な収支や2号有料業務との関係などを総合的に考慮して、有料で提供します。

3. 2号有料、3号有料業務の収支

2号有料業務および3号有料業務は、区分経理の対象であり、「放送番組等有料配信業務勘定」として計理されます。

「放送番組等有料配信業務勘定」の予算では、事業収入は22億円、事業支出は22億円で、事業収支差金は0.1億円です。そのうち、3号有料業務に係る事業収入および事業支出は、共に2億円です。

第3部 実施状況に関する資料の作成および評価について

この実施計画に記載した業務の実施状況については、年度終了後に、収支を含めた実施結果を作成し公表します。

また、技術の発達、需要の動向、市場競争への影響、受信料の公平負担との関係その他の事項を勘案して、多角的な評価を行い、サービスの充実、改善に取り組みます。

実施計画は必要に応じて、年度途中に変更することがあります。

第4部 インターネット活用業務に関する競合事業者からの意見・苦情等への対応について

この実施計画に基づき実施するインターネット活用業務の遂行状況について、同種のサービスを行う事業者または外部事業者からご意見、苦情等が寄せられたときには、実施基準に基づいて、外部委員からなる「インターネット活用業務 審査・評価委員会」に対応案の妥当性について検討を求め、その意見を尊重して、必要な措置を講じます。

また、実施基準では、「市場競争への影響も考慮要素とする」とこととされており、実施計画の策定にあたっては、「インターネット活用業務 審査・評価委員会」から、市場への影響等を中心に、適切性の観点からの見解を受けています。この見解を踏まえ、適切に業務を行っていきます。

なお、同委員会の見解は、実施前の事業であることから概括的な検討となっており、実施計画におけるサービスの公共性や市場への

影響等を事後に評価する必要性も意識されていることから、今後とも適宜委員会に見解を求め、業務を実施して参ります。